

整理番号	44-3	事務事業名	フレンドリーセンター運営事業	作成部署	生涯学習部社会教育課	電話	内線889	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	可児正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等	北広島市フレンドリーセンター条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	障がい者と健常者が生涯学習活動を通じて学び、ふれあい、創造し、交流を図るため、北広島市フレンドリーセンターを設置し、管理運営を図ることを目的とし開始した。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	施設の充実とネットワーク	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	障がい者・健常者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	障がい者と健常者が生涯学習活動を通じて学び交流する場を提供する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	障がい者と健常者が交流を図りながら、陶芸活動・野焼き体験・プール体験教室・野外レクとしての動物園見学・料理教室・室内レクとしてのトランポリン教室・スキーツアー等の各種事業を実施した。
		17年度	障がい者と健常者が交流する陶芸活動・野焼き体験・野外レクの小樽水族館見学・絵画教室・プール体験教室・料理教室・トランポリン教室・スキーツアー事業等の各種事業を実施する予定をしている。

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金			379	379
	地方債				
	その他特財	20	3	29	29
	一般財源	2,243	1,912	1,613	1,613
	合計	2,263	1,915	2,021	2,021
人件費(概算)	人数(年間)	0.40	0.40	0.40	0.40
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	3,600	3,600	3,600	3,600
総事業費 +		5,863	5,515	5,621	5,621

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	陶芸・野焼き活動	246人	252人	300人	300人
	野外レク・水泳・スキー活動	152人	80人	100人	100人
	料理・その他活動	22人	66人	70人	70人
	事業参加者合計	420人	398人	470人	470人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	事業参加者合計(代替指標)	420人	398人	470人	470人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	延べ参加者1人あたりコスト	13,900円	13,800円	11,900円	11,900円
	(総事業費÷事業参加者総数)				

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	障がい者が地域社会で自立し、積極的にまちづくりに参画できるような機会が求められていることから、障がい者と健常者がふれあい、学びあう交流事業は、ますます重要な役割を果たすことになる。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	障がいをもつ人ともたない人が、お互いに理解を深め合うために陶芸・レクリエーション・各種イベントを通して交流を深める機会の拡充を図っていく。	福祉部局及び社会福祉協議会との事業調整を行い運営の整理統合を図る。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	当市のノーマライゼーションに対する姿勢からも交流の場の提供は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	フレンドリーセンターを運営委員会により運営しているが、福祉部局との競合する面もあり改善の余地がある。	福祉部局及び社会福祉協議会との事業調整を行い運営の整理統合を図る。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	参加者本人に材料費を負担してもらっていることから妥当である。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	各事業とも予定した人数を満たしているため概ね成果があがっているものと判断している。	高い参加率と安全な運営が確保されるよう施設の移転等を検討する。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	コストのほとんどが施設維持費であり、やや非効率と判断する。	維持費の削減のため施設の改善及び移設を検討する。

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	施設の改善がなされ車椅子での参加も可能になった。より多くの方が事業に参加できるよう、総合的な視野に立ち事業内容の見直しを行い、継続していくとともに運営委員会による自主運営能力を高めるための育成支援を行う。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおりだが、福祉部局及び社会福祉協議会との事業調整や運営の整理統合も検討する。